

## リフ・ラフ (1991)

RIFF-RAFF

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 イギリス

色彩 Color

時間 94分

初公開日 1993/12/25

公開情報 シネカノン

## 【解説】

'68年の「夜空に星のあるように」以来、なんと25年ぶりの日本公開となったK・ローチ作品。その間にも“K E S S”（「少年と鷹」の題でTV放映、後に「ケス」として劇場公開），“L O O K A N D S M I L E”などの戦後英国映画を代表する傑作を放っていた彼なのだが、それらは日本では特殊な形で公開されただけである。政治的には左派であり、映画にもその芯ははっきり感じられるが、教条臭い所は皆無。透明な眼差しと深いユーモアで市井の人々の日常を描くのが彼の作風であり、下層民を軽蔑して言う題名からもまさに、そのアイロニーは伝わる。

グラスゴー出身のスティーブ（R・カーライル）は刑務所を出て、ロンドンの建設現場に職を見つけるが、そこは全くの掃きだめ。賃金は安く、労働条件は最低だった。ある日、拾ったバッグを届けたことから知り合った歌手志望のスーザン（E・マッコート）と一緒に暮らし始めた彼。ケンカばかりの不器用な愛し方しかできない二人だったが、いつしか堅い絆を育んでいた。そんな時、スティーブに捜索願いが出ていることが分かった。彼の母親が亡くなったのだ……。

働く者同士の暖かい連帯がそこはかとなく、若くふらつきがちの二人の愛を支えるさまが微笑ましく語られる。ローチ流リアリズムがそこにあるのだ。'91年カンヌ国際批評家賞他受賞。

## 【クレジット】

監督	ケン・ローチ	Ken Loach	
製作	サリー・ヒビン	Sally Hibbin	
脚本	ビル・ジェシー	Bill Jesse	
撮影	バリー・アクロイド	Barry Ackroyd	
編集	ジョナサン・モリス	Jonathan Morris	
音楽	スチュワート・コーブランド	Stewart Copeland	
出演	ロバート・カーライル	Robert Carlyle	スティーブ
	エマー・マッコート	Emer McCourt	スーザン
	リッキー・トムリンソン	Ricky Tomlinson	ラリー
	ジミー・コールマン	Jimmy Coleman	シエム
	ジョージ・モス	George Moss	モー